

令和8年1月19日

世田谷区立東玉川小学校
学校運営委員会 委員長 前澤 勉 殿
学校長 依田 哲治 殿

学校関係者評価委員会 委員長
豊福 晋平

令和7年度 学校関係者評価委員会 提言書

世田谷区立東玉川小学校学校関係者評価委員会では、地域運営学校としてのよりよい教育活動の展開を目的とし、外部アンケート（共通項目・独自項目）および学校自己評価点検等の評価資料をもとに、本年度の教育活動全般について考察・検討を進め、提言を以下の通りまとめた。

学校及び学校運営委員会において、これら結果を客観的に分析し、今後の対策を検討していただきたい。なお、記述の根拠となる評価資料等は別紙にとりまとめた。

本年度の学校評価は、児童・保護者・地域を対象としたアンケートおよび教職員自己評価を基に、領域別に総合的な考察を行った。アンケートの回答率は、学年によって多少の差は見られるものの概ね良好であり、学校への関心と協力体制が一定程度確保されていることがうかがえる。今後は、より信頼性の高い分析のため、全体として90%超を目指し回収方法の工夫が期待される。

一方、学校評価や学校運営委員会に関する制度変更が次年度に予定されている点については、現場および地域における理解不足や広報不足が課題として指摘された。地域との連携を一層深め、評価の透明性を高めていくためにも、説明会の実施や情報共有の機会を計画的に充実させていくことが求められる。

評価資料概要

外部アンケート

対象 保護者・児童（5・6年）・地域

調査実施日 2025年10月17日～10月30日

有効回答数

保護者 325件（83%）

1年 48（86%）・2年 38（73%）・3年 51（88%）

4年 66（73%）・5年 52（93%）・6年 60（90%）

児童 116件 うち5年 53（93%）・6年 63（94%）

地域 8件（53%）

学校自己評価点検

対象 本校全教員 20名

領域別のまとめ

外部アンケートについて領域別についてまとめ、アンケート上の特徴は本年度のデータに限って、無回答傾向（おおむね12%を超えるもの）、ポジティブ・ネガティブ傾向（全項目中で特に高評価・低評価の

もの)、学年差について考察を行う。また、児童・保護者・地域の項目については昨年度の平均との比較も併せて行った。教員自己評価とあるものは、自己評価のコメント欄、もしくは、評価委員会中の発言に基づくものである。

01 学習指導

01 学習指導領域は児童項目 5 項目、保護者項目 4 項目、教職員項目 11 項目で構成される。領域平均は全体平均より高く、全 13 領域中 3 位で、他領域と比べてもポジティブな傾向が明確である。

児童側では「課題（めあて）について自分で／友達と考える時間がある（C12）」が全項目中でも特に高い平均（+）で、昨年度より上昇（↑）している。対話や協働を軸にした授業設計が、子どもの実感として定着してきたことを示す。研究授業やグループ討議の機会が増え、児童の課題考察や友達との協働活動が評価されている。黒板やプリントの工夫、ICT 活用のさらなる充実が課題とされている。

一方、保護者側の「黒板の書き方やプリントの工夫（P012）」は無回答が高く（?）、質問文が観察可能な授業場面を想起しにくい可能性がある。授業形態が多様化し、プリント類を減らしオンライン教材を工夫するなどしている状況を踏まえ、今後は文言等を変更することが考えられる。

学年差（D）が付いた「課題解決や考える授業を大切にしている（P011）」は、高学年ほど平均が上がる傾向があるが、低学年から高学年にかけて授業の形態が徐々に変化していることを反映していると考えられる。ただし、低学年においてもこうした授業が“見えない形”で展開されていることを保護者に理解を促す工夫があってもよいだろう。

教職員項目では「指導形態と評価方法の工夫（T140）」が特に高評価（+）で、備考でも「話し合っていて決めている」といった協働的改善が示される。ポジティブさを“仕組み化”できている点が強みである。

02 生活指導

02 生活指導領域は児童項目 3 項目、保護者項目 4 項目、地域項目 2 項目、教職員項目 13 項目で構成される。領域平均は全体平均とほぼ同程度で、全 13 領域中 6 位に位置する。突出して良い／悪いではなく、強みと課題が同居する領域である。

児童では「注意されたことは理解できる（C23）」が上昇（↑）し高水準で、指導の納得感は保たれている。一方、保護者側では「ルールについて子どもに考えさせる指導（P021）」が無回答高（?）かつ学年差（D）もあり、家庭からは“学校の指導の意図”が見えにくい層が一定ある。生活指導の説明が「守らせる」中心に見えると、保護者は判断しづらくなるため、指導のねらい（なぜそのルールか／代替行動は何か）を便りや保護者会で短く共有するとギャップが縮まると考えられる。

地域項目では「交通ルールを守っている（R011）」が低め（-）で昨年度より下降している。地域の見守りの視線は厳しめに出やすいので、下校指導・登下校安全の取組を“地域に見える形”で返す（重点期間の設定、見守りボランティアとの連携報告）のも一案である。

教職員では、体力・生活関連の一部（休み時間の外遊び等）が低め（-）で、現場感としても難しさが示される。縄跳びなどの体育活動はアンケート時点ではまだ本格化しておらず、今後の継続的な取り組みで評価は変わる見込み、ということであった。遊びを通じた運動能力向上の試みも実施中。記述としては丁寧な指導実感（例：ルールの意味を伝える等）があるため、次は「児童に考えさせる」場面を意図的に増やすことが効果的かもしれない。

食育に関する指導の統一性が不足しており、クラス間で指導方針にばらつきがある。また、食育の範囲

や定義が曖昧で、給食に限定しない広い視点での食育推進が必要。栄養士が作成したポスターやクイズなどの工夫があるが、周知や活用は限定的。給食時間の放送や動画活用は進んでいるが、2学期以降の弁当給食移行により食育活動が制約される懸念がある。動画作成などの工数を抑えつつ効果的な方法を模索中とのこと。

03 学校行事

03 学校行事領域は児童項目3項目、保護者項目3項目、地域項目2項目、教職員項目6項目で構成される。領域平均は全体で最も高く（全13領域中1位）、学校の強い資産になっている。

児童の「学校行事は楽しい（C31）」は全項目中でも特に高い（+）一方、昨年度よりは下降（\）し、学年差（D）もある。行事の再編や質的転換があった場合、低学年は“楽しい”に寄り、高学年は“達成感・役割”で評価が揺れやすい。

教職員の「学校行事が計画的に組まれている（T143）」は高評価（+）で、記述欄でも「適切な時期」「教務から学年主任への確認」など、計画のガバナンスが機能していることが示される。地域項目の「事前準備や当日の案内で地域配慮がある（R022）」も上昇（/）しており、外部への配慮が改善している。

なお評価委員会では、5年生の川場移動教室や6年生の日光林間学園など、熊の出没などが予期されるケースで安全上の懸念が生じている事が話題とされ、次年度の実施方針に関しては教育委員会側の姿勢を問う意見が出された。本校に限らず区内学校全部に影響がある事案でもあり、適切な方針検討と広報がなされることを希望する。

04 キャリア教育

04 キャリア教育領域は児童項目3項目、保護者項目2項目で構成される。領域平均は全体平均より低く、全13領域中12位で、相対的に弱さが出ている。

児童側では「目標をもち努力している（C42）」が上昇（/）しており、子どもの内的側面は前向きである。一方で「中学校情報の提供（C43）」は無回答が高い（?）ため、情報提供のタイミングや媒体が学年に合っていない可能性がある。保護者側の「将来を考える授業（P042）」も無回答が非常に高く（?）かつ低め（- /）で、内容が家庭に伝わっていない／保護者が判断できる材料がないことが主要因に見える。

評価委員会でのやりとりでは、本校では通年でふりかえりの機会を設けているが、キャリア教育のノートを持ち帰る機会は3月のみであるため、学校評価のタイミングが合っていない課題があるとの指摘があった。

05 教職員

05 教職員領域は児童項目2項目、保護者項目2項目で構成される。領域平均は全体平均並み（全13領域中7位）で、大きな崩れはないが、受け止め方に差がある。

保護者の「丁寧な指導（P051）」は上昇（/）し、学年差（D）もある（低学年高め・中学年で下がりやすい傾向）。学年が上がるほど期待値が上がることを踏まえ、学年別の指導方針の見通しを丁寧に伝えると安定する。

注目点は児童の「先生たちに相談できる（C52）」が低め（-）で、否定率も相対的に高いことである。これは“相談したい内容がある”というより、相談ルートや安心感の見え方の問題である可能性が高い。相談窓口（担任以外、養護・SC等）を児童向けに定期リマインドし、相談のハードルを下げる工夫が有効

であろう。

06 全般

06 全般領域は児童項目 5 項目、保護者項目 5 項目、教職員項目 3 項目で構成される。領域平均は全体平均よりやや低く（全 13 領域中 11 位）、学校生活の満足・学習習慣・学び舎連携など“広いテーマ”が混在していることが影響している。

児童の「学校生活は楽しい（C61）」は上昇（↗）で高水準だが、家庭学習（宿題・eラーニング：C63）などは低め（－）で、否定回答が一定ある。これは学習量そのものより、家庭ごとの実行条件差が反映されやすいタイプの設問である。学校側の支援としては、宿題の量より「やり方（短時間で終えるコツ、振り返りの型）」の提示が効くと考えられる。

教職員では「すまいるルームの支援充実（T148）」が高評価（＋）で、支援体制の機能が強みとして現れている。保護者の「体力や健康生活（P065）」は相対的に低めなので、運動委員会等の取組を“家庭に見える言葉”で共有すると、全般領域の底上げにつながるであろう。

07 情報提供

07 情報提供領域は保護者項目 4 項目、地域項目 5 項目、教職員項目 6 項目で構成される。領域平均は全体平均より高め（全 13 領域中 4 位）で、情報発信は本校の得意領域である。

保護者の「学校公開・保護者会で児童の様子が分かる（P073）」は全項目中でも高水準（＋↗）で、情報提供が信頼形成に寄与している。教職員の「保護者会でわかりやすく工夫（T141）」「HP で情報発信（T150）」も高評価（＋）で、アピールポイントとして写真・動画・ロイロノート等の活用が挙がり、発信の具体が伴っている。

一方、地域項目の一部は無回答（？）が非常に高いため、地域住民が判断できる情報に到達していない可能性がある（地域行事紹介の発信等）。また「学び舎の活動情報（R032）」が低め（－↗）で、改善余地がある。新任教員に対して学び舎の存在や活動内容の説明が不足しているため、4月の職員会議等で重点目標や活動内容を周知する予定。地域向けには、学校サイト内の導線（“地域の皆さまへ”の固定枠）や紙媒体の最小セット化で、情報の届き方を整えるとよいだろう。

08 学校運営

08 学校運営領域は保護者項目 2 項目、地域項目 2 項目、教職員項目 5 項目で構成される。領域平均は全体平均より高く（全 13 領域中 2 位）、運営の安定感が評価として表れている。

教職員では「問い合わせ・要望への丁寧対応（T135）」「教育目標の具現化（T145）」「個人情報管理（T151）」がいずれも高評価（＋）で、記述欄でも学年対応と管理職助言の連携、個人情報への配慮が明記される。組織としての応答品質が強い。

地域の「説明・対応（R042）」は無回答がやや高い（？↗）ため、地域側が実感する接点が限定的かもしれない。学校運営の良さは“トラブルが少ないほど見えにくい”ので、学校運営委員会等の場で「今年度対応の方針」だけでも共有すると、回答しやすくなると思われる。

09 家庭連携

09 家庭連携領域は、保護者項目 3 項目で構成される。領域平均は全体で最も低く（全 13 領域中 13 位）、相対的に課題が集中している。

「学校公開に参加 (P091)」は比較的高い一方、「行事・PTA・地域行事への協力 (P092)」は低め(－)で否定率も高い。さらに「学校重点目標の理解 (P093)」は無回答が高く(？)、低め(－)だが昨年度より上昇(↗)している。つまり、改善の兆しはあるが、家庭の時間資源や関与可能性の差が強く反映されている。

この領域は“協力を求める”より、“関与の選択肢を増やす”が支援的である。短時間・非同期・家庭内完結のできる協力(アンケート、読み聞かせへの参加、掲示物作成など)を複線化し、「**参加できない家庭が取り残されない設計**」にすると、評価は上がりやすい。PTAを含めた今後の組織改編に向けてコーディネータによる働きかけなど新たな方法が模索されているとのことである。

10 地域連携

10 地域連携領域は保護者項目3項目、地域項目6項目で構成される。領域平均は全体平均より高め(全13領域中5位)で、地域側の評価が特に高い。

地域の「連携に努め地域を学ぶ機会を大切に (R081)」「地域の人や施設を教育活動に活かす (R051)」はいずれも全項目中でも非常に高い(+↗)。他方、学校運営委員会に関する項目(R053)が低め(－)で、仕組みの可視性が課題になっている。保護者側の地域関連設問は無回答が高め(？↗)なので、家庭にとっては地域連携が“自分ごと化”しにくい可能性がある。「地域連携が子どもの学びにどう効いているか」を1枚で示す(年間での地域資源マップ、学年別の連携一覧)と、保護者・地域双方の納得感が整う。

11 安全性

11 安全性領域は保護者項目3項目、地域項目2項目、教職員項目3項目で構成される。領域平均は全体平均よりやや低め(全13領域中9位)だが、全項目が昨年度より上昇(↗)しており、改善が継続している領域である。

地域側の「安心・安全な学校づくり」「地域と協力」がいずれも高水準で、学校―地域の基盤は強い。保護者側では「災害時対応の提供 (P113)」が上昇しているものの、平均との差は残る。災害対応は“知っているか”で評価が決まるため、年度初めの配布だけでなく、学期ごとのリマインド(URL固定・紙1枚・訓練後の振り返り)で定着を図るとよい。

13 特色ある教育活動

13 特色ある教育活動領域は保護者項目4項目、地域項目2項目で構成される。領域平均は全体平均並み(全13領域中8位)で、安定している。

保護者側の「探究的な学び (P133)」等は概ね肯定的だが、設問が抽象になりやすい領域でもある。地域側の評価と接続しやすいので、特色の中身(子どもの成果物、地域連携の実例)を“誰でも分かる言葉”で例示し続けることが、無回答抑制と評価の上積みに効くと考えられる。

タブレット使用時の安全・責任・マナーに関しては95%以上の児童が意識しており、定着している。故意の破損はほぼなく、良好な状況。デジタルシティズンシップ教育については中学年から取り組み中。AIの情報の正確性に注意が必要で、児童にハルシネーション(幻惑)を体験させる授業を実施。AIの活用に対する慎重な姿勢が共有された、ということである。さらにディープフェイクへの対応など、より踏み込んだ体系的な教育が必要とされる。

14 支援部

14 支援部領域は保護者項目 4 項目、地域項目 1 項目、教職員項目 6 項目で構成される。領域平均は全体平均よりやや低め（全 13 領域中 10 位）だが、支援活動の価値は一定伝わっている。

教職員の「地域人材・施設を教育活動に活かす (T128)」は高評価 (+) で、記述にも支援員の熱心さや体験活動の価値が具体的に書かれている。一方、「地域行事への参加・協力 (T129)」は低めで、改善点には土日参加の困難さなど、現実的制約が示される。ここは“善意の負荷”が集中しやすいので、参加を個人の努力に依存させず、学校としての代表参加・情報発信・代替手段（平日参加、オンライン協力）を検討するとよい。

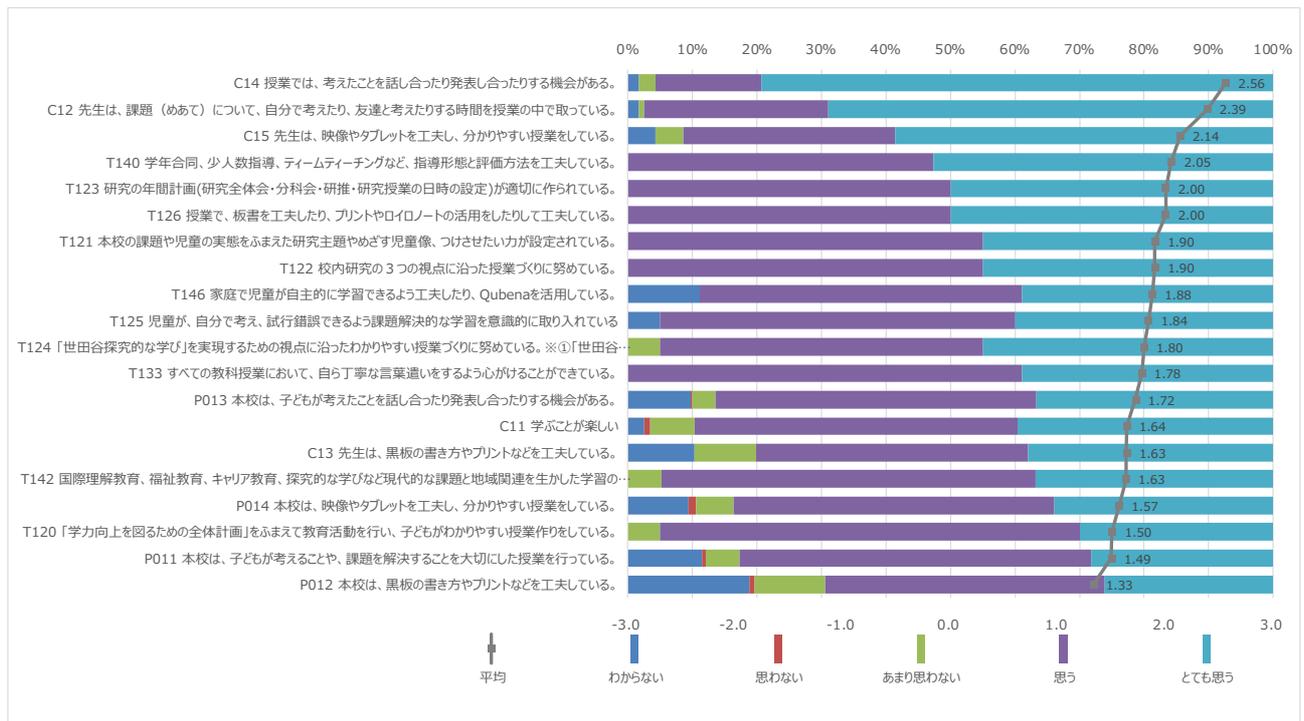
また、地域の「4 支援部の活動への関心 (R101)」は無回答が高い (? /)。支援部は存在を知って初めて評価できるため、活動一覧の常設掲示・HP 固定枠・評価だよりの配布で、判断材料を増やすのが効果的である。

別紙資料

A とても思う=3/B思う=1/Cあまり思わない=-1/D思わない=-3 として全項目の平均を求めた。
 + 全項目中でポジティブな項目 - ネガティブな項目 D 学年差のある項目 ? 無回答が多い項目
 / 昨年度よりも数値が0.2以上改善した項目 \ 昨年度よりも数値が0.2以上悪化した項目

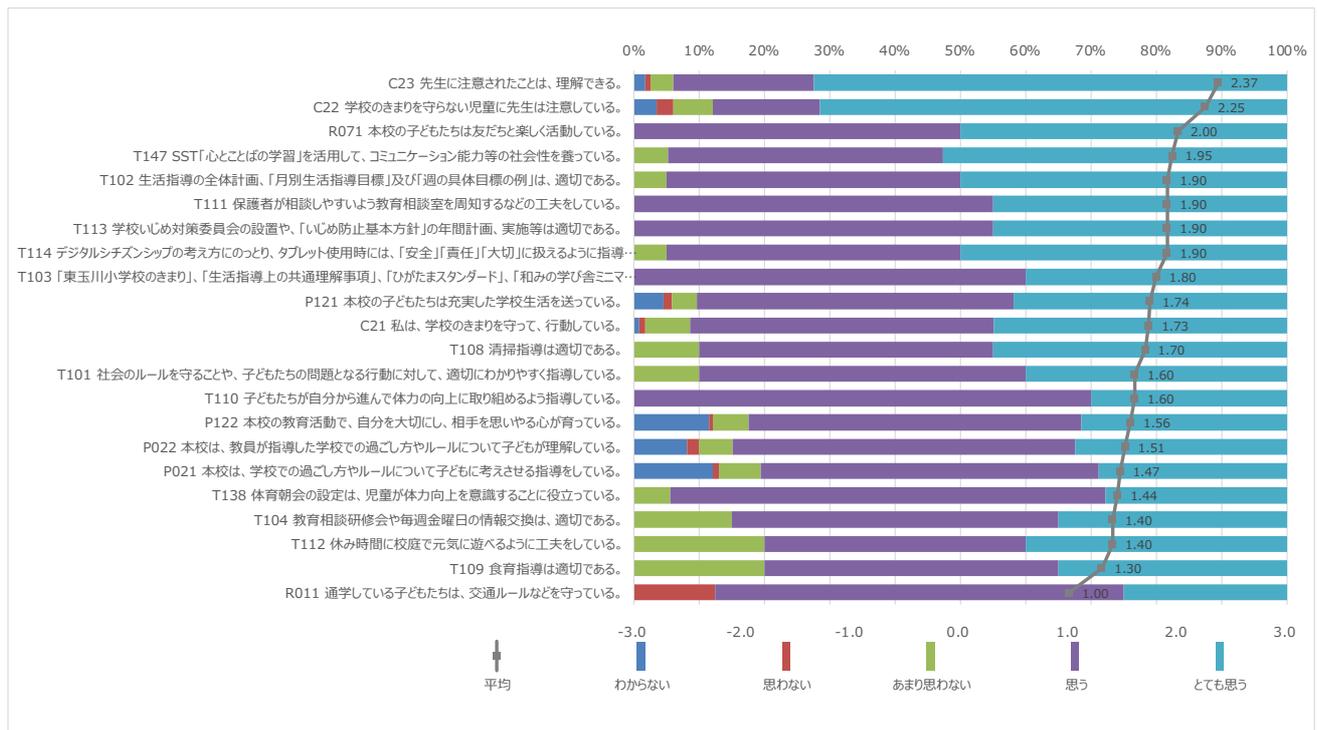
01 学習指導

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
C14 授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	2	0	3	19	92	2.56	+
C12 先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	2	0	1	33	80	2.39	+ /
C15 先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	5	0	5	38	68	2.14	
T140 学年合同、少人数指導、チームティーチングなど、指導形態と評価方法を工夫している。	0	0	0	9	10	2.05	+
T123 研究の年間計画(研究全体会・分科会・研推・研究授業の日の設定)が適切に作られている。	0	0	0	10	10	2.00	
T126 授業で、板書を工夫したり、プリントやロイロノートの活用をしたりして工夫している。	0	0	0	10	10	2.00	
T121 本校の課題や児童の実態をふまえた研究主題やめざす児童像、つけさせたい力が設定されている。	0	0	0	11	9	1.90	
T122 校内研究の3つの視点に沿った授業づくりに努めている。	0	0	0	11	9	1.90	
T146 家庭で児童が自主的に学習できるよう工夫したり、Qubenaを活用している。	2	0	0	9	7	1.88	
T125 児童が、自分で考え、試行錯誤できるよ課題解決的な学習を意識的に取り入れている	1	0	0	11	8	1.84	
T124 「世田谷探究的な学び」を実現するための視点に沿ったわかりやすい授業づくりに努めている。※①「世田谷探究的な学び」	0	0	1	10	9	1.80	
T133 すべての教科授業において、自ら丁寧な言葉遣いをするよう心がけることができる。	0	0	0	11	7	1.78	
P013 本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	32	1	12	164	121	1.72	/
C11 学ぶことが楽しい	3	1	8	58	46	1.64	
C13 先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	12	0	11	49	44	1.63	
T142 国際理解教育、福祉教育、キャリア教育、探究的な学びなど現代的な課題と地域関連を生かした学習の充実を図っている。	0	0	1	11	7	1.63	
P014 本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	31	4	19	164	112	1.57	/
T120 「学力向上を図るための全体計画」をふまえて教育活動を行い、子どもがわかりやすい授業作りをしている。	0	0	1	13	6	1.50	
P011 本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切に授業を行っている。	38	2	17	180	93	1.49	/ D
P012 本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	62	3	36	143	86	1.33	? /



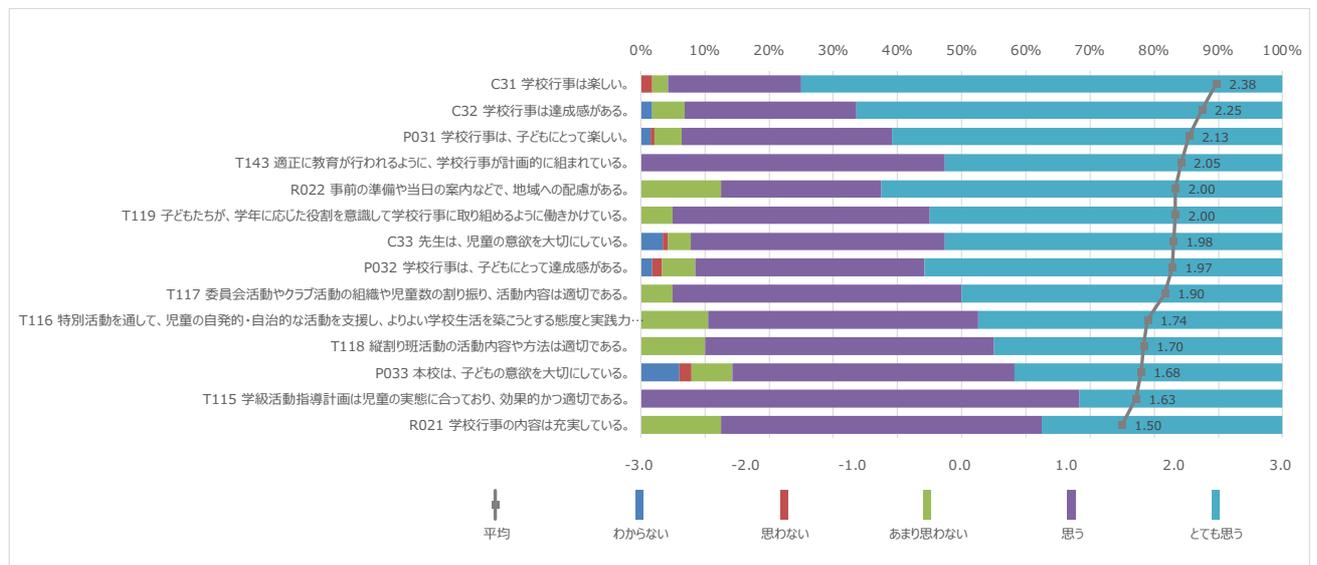
02 生活指導

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
C23 先生に注意されたことは、理解できる。	2	1	4	25	84	2.37	↗
C22 学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	4	3	7	19	83	2.25	D
R071 本校の子どもたちは友だちと楽しく活動している。	0	0	0	4	4	2.00	↗
T147 SST「心とことばの学習」を活用して、コミュニケーション能力等の社会性を養っている。	0	0	1	8	10	1.95	
T102 生活指導の全体計画、「月別生活指導目標」及び「週の具体目標の例」は、適切である。	0	0	1	9	10	1.90	
T111 保護者が相談しやすいよう教育相談室を周知するなどの工夫をしている。	0	0	0	11	9	1.90	
T113 学校いじめ対策委員会の設置や、「いじめ防止基本方針」の年間計画、実施等は適切である。	0	0	0	11	9	1.90	
T114 デジタルシズンシップの考え方にのっとり、タブレット使用時には、「安全」「責任」「大切」に扱えるように指導している。	0	0	1	9	10	1.90	
T103 「東玉川小学校のきまり」、「生活指導上の共通理解事項」、「ひがたまスタンダード」、「和みの学び舎ミニマム」を通して、生活	0	0	0	12	8	1.80	
P121 本校の子どもたちは充実した学校生活を送っている。	15	4	13	160	138	1.74	↗
C21 私は、学校のきまりを守って、行動している。	1	1	8	54	52	1.73	
T108 清掃指導は適切である。	0	0	2	9	9	1.70	
T101 社会のルールを守ることや、子どもたちの問題となる行動に対して、適切にわかりやすく指導している。	0	0	2	10	8	1.60	
T110 子どもたちが自分から進んで体力の向上に取り組めるよう指導している。	0	0	0	14	6	1.60	
P122 本校の教育活動で、自分を大切に、相手を思いやる心が育っている。	38	2	18	168	104	1.56	↗
P022 本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	27	6	17	173	107	1.51	↗D
P021 本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	40	3	21	171	95	1.47	? ↗D
T138 体育朝会の設定は、児童が体力向上を意識することに役立っている。	0	0	1	12	5	1.44	—
T104 教育相談研修会や毎週金曜日の情報交換は、適切である。	0	0	3	10	7	1.40	—
T112 休み時間に校庭で元気に遊べるように工夫をしている。	0	0	4	8	8	1.40	—
T109 食育指導は適切である。	0	0	4	9	7	1.30	—
R011 通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	0	1	0	5	2	1.00	— ↘



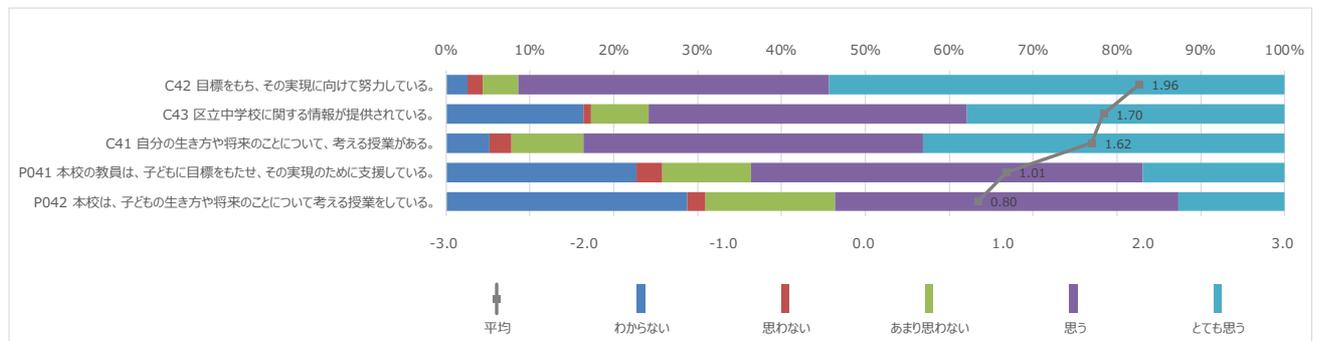
03 学校行事

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
C31 学校行事は楽しい。	0	2	3	24	87	2.38	+ \D
C32 学校行事は達成感がある。	2	0	6	31	77	2.25	
P031 学校行事は、子どもにとって楽しい。	5	2	14	108	201	2.13	+
T143 適正に教育が行われるように、学校行事が計画的に組まれている。	0	0	0	9	10	2.05	+
R022 事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	0	0	1	2	5	2.00	↗
T119 子どもたちが、学年に応じた役割を意識して学校行事に取り組めるように働きかけている。	0	0	1	8	11	2.00	
C33 先生は、児童の意欲を大切にしている。	4	1	4	46	61	1.98	
P032 学校行事は、子どもにとって達成感がある。	6	5	17	118	184	1.97	+
T117 委員会活動やクラブ活動の組織や児童数の割り振り、活動内容は適切である。	0	0	1	9	10	1.90	
T116 特別活動を通して、児童の自発的・自治的な活動を支援し、よりよい学校生活を築こうとする態度と実践力を養っている。	0	0	2	8	9	1.74	
T118 縦割り班活動の活動内容や方法は適切である。	0	0	2	9	9	1.70	
P033 本校は、子どもの意欲を大切にしている。	20	6	21	145	138	1.68	
T115 学級活動指導計画は児童の実態に合っており、効果的かつ適切である。	0	0	0	13	6	1.63	
R021 学校行事の内容は充実している。	0	0	1	4	3	1.50	



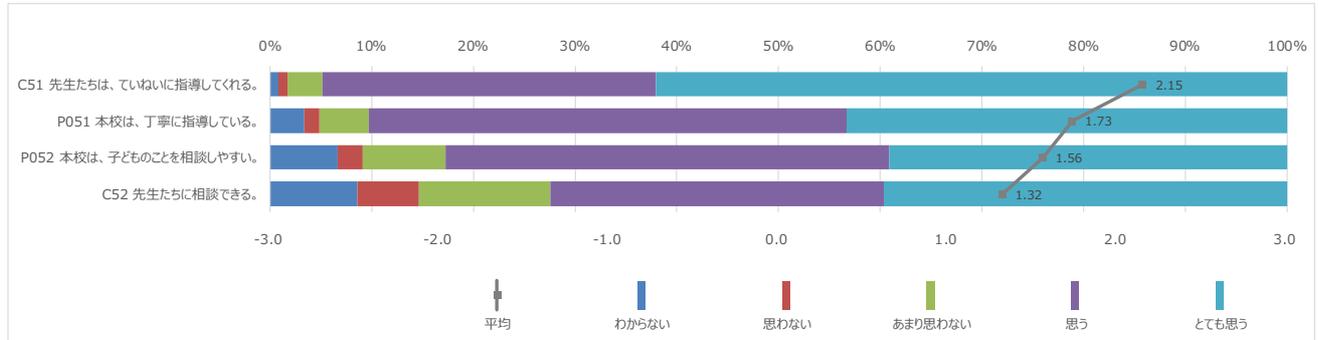
04 キャリア教育

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
C42 目標をもち、その実現に向けて努力している。	3	2	5	43	63	1.96	↗
C43 区立中学校に関する情報が提供されている。	19	1	8	44	44	1.70	? ↗
C41 自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	6	3	10	47	50	1.62	D
P041 本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	75	10	35	154	56	1.01	?
P042 本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	95	7	51	135	42	0.80	? - ↗



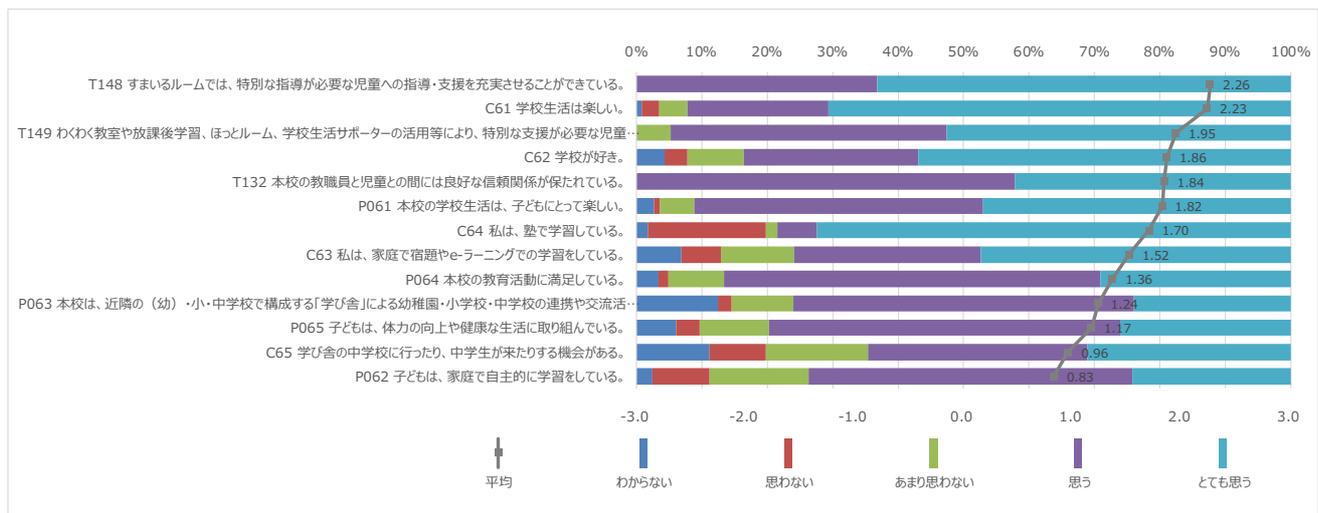
05 教職員

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
C51 先生たちは、ていねいに指導してくれる。	1	1	4	38	72	2.15	
P051 本校は、丁寧に指導している。	11	5	16	155	143	1.73	↗D
P052 本校は、子どものことを相談しやすい。	22	8	27	144	129	1.56	↗
C52 先生たちに相談できる。	10	7	15	38	46	1.32	—



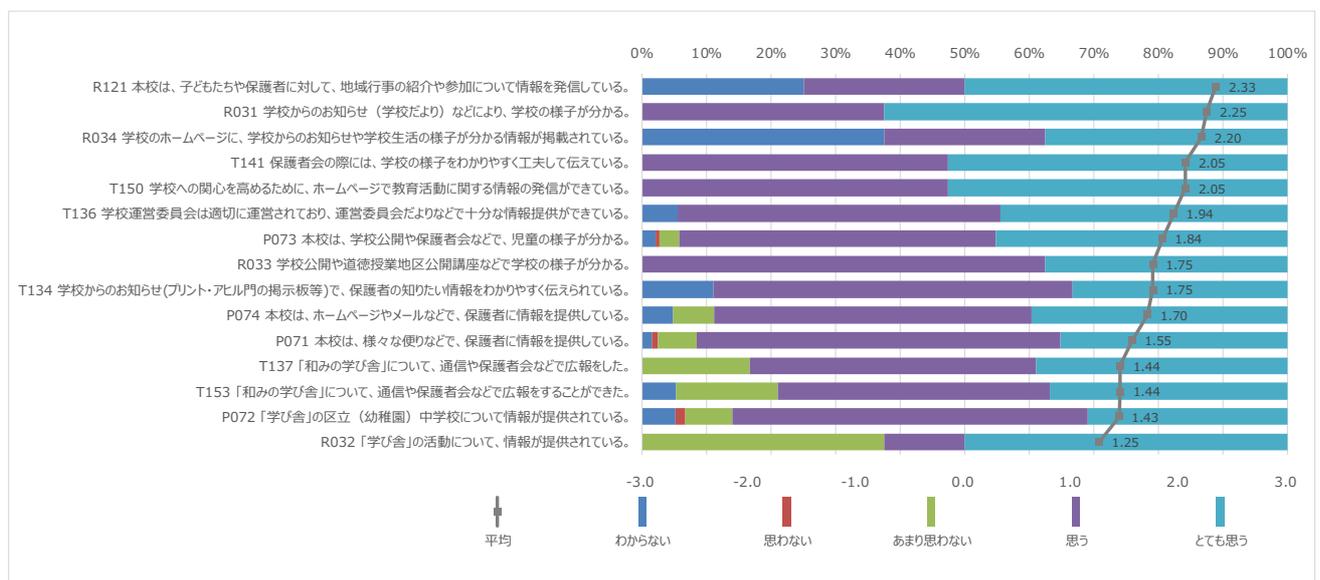
06 全般

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
T148 すまいるルームでは、特別な指導が必要な児童への指導・支援を充実させることができる。	0	0	0	7	12	2.26	+
C61 学校生活は楽しい。	1	3	5	25	82	2.23	↗
T149 わくわく教室や放課後学習、ほっとルーム、学校生活サポーターの活用等により、特別な支援が必要な児童への指導・支援を子	0	0	1	8	10	1.95	
C62 学校が好き。	5	4	10	31	66	1.86	
T132 本校の教職員と児童との間には良好な信頼関係が保たれている。	0	0	0	11	8	1.84	
P061 本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	9	3	17	146	155	1.82	
C64 私は、塾で学習している。	2	21	2	7	84	1.70	↗
C63 私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	8	7	13	33	55	1.52	—
P064 本校の教育活動に満足している。	11	5	28	190	96	1.36	D
P063 本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	41	7	31	172	79	1.24	? ↗
P065 子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	20	12	35	177	86	1.17	↗
C65 学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	13	10	18	39	36	0.96	— ↗
P062 子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	8	29	50	163	80	0.83	— ↗



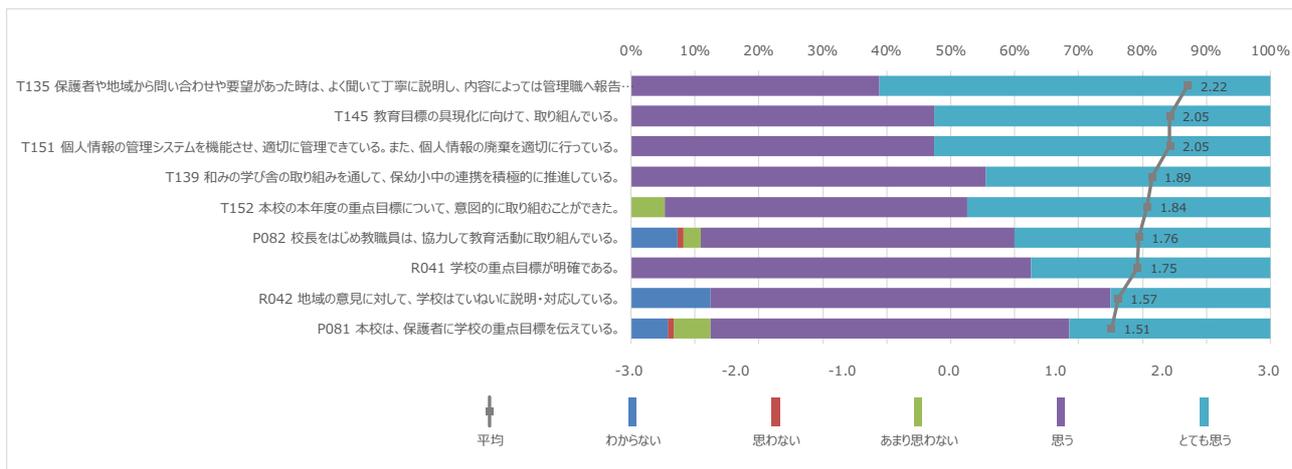
07 情報提供

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
R121 本校は、子どもたちや保護者に対して、地域行事の紹介や参加について情報を発信している。	2	0	0	2	4	2.33	? + ↗
R031 学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。	0	0	0	3	5	2.25	+
R034 学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	3	0	0	2	3	2.20	? ↗
T141 保護者会の際には、学校の様子をわかりやすく工夫して伝えている。	0	0	0	9	10	2.05	+
T150 学校への関心を高めるために、ホームページで教育活動に関する情報の発信ができています。	0	0	0	9	10	2.05	+
T136 学校運営委員会は適切に運営されており、運営委員会だよりなどで十分な情報提供ができています。	1	0	0	9	8	1.94	
P073 本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	7	2	10	162	149	1.84	+ ↗
R033 学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	0	0	0	5	3	1.75	↗
T134 学校からのお知らせ（プリント・アヒル門の掲示板等）で、保護者の知りたい情報をわかりやすく伝えられている。	2	0	0	10	6	1.75	
P074 本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	16	0	21	162	131	1.70	↗
P071 本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	5	3	20	186	116	1.55	↗
T137 「和みの学び舎」について、通信や保護者会などで広報をした。	0	0	3	8	7	1.44	-
T153 「和みの学び舎」について、通信や保護者会などで広報をすることができた。	1	0	3	8	7	1.44	-
P072 「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。	17	5	24	182	102	1.43	↗
R032 「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	0	0	3	1	4	1.25	- ↗



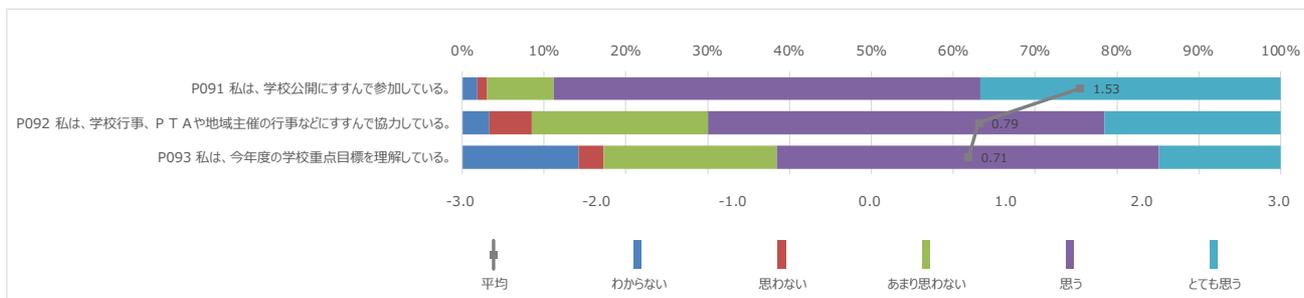
08 学校運営

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
T135 保護者や地域から問い合わせや要望があった時は、よく聞いて丁寧に説明し、内容によっては管理職へ報告している。	0	0	0	7	11	2.22	+
T145 教育目標の具現化に向けて、取り組んでいる。	0	0	0	9	10	2.05	+
T151 個人情報の管理システムを機能させ、適切に管理できている。また、個人情報の廃棄を適切に行っている。	0	0	0	9	10	2.05	+
T139 和みの学び舎の取り組みを通して、保幼小中の連携を積極的に推進している。	0	0	0	10	8	1.89	
T152 本校の本年度の重点目標について、意図的に取り組むことができた。	0	0	1	9	9	1.84	
P082 校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	24	3	9	162	132	1.76	↗
R041 学校の重点目標が明確である。	0	0	0	5	3	1.75	
R042 地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	1	0	0	5	2	1.57	? ↗
P081 本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	19	3	19	185	104	1.51	↗



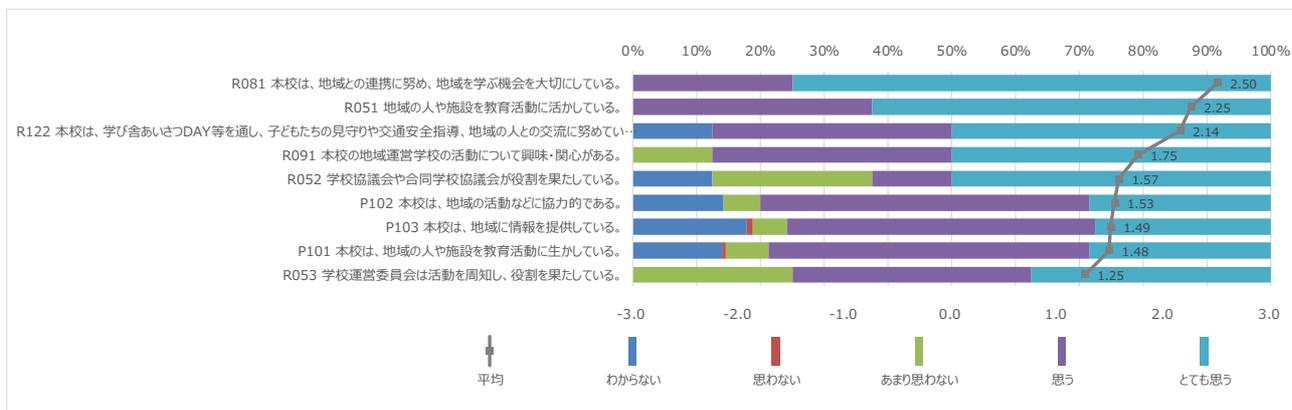
09 家庭連携

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
P091 私は、学校公開にすすんで参加している。	6	4	27	172	121	1.53	
P092 私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。	11	17	71	160	71	0.79	-
P093 私は、今年度の学校重点目標を理解している。	47	10	70	154	49	0.71	?-?



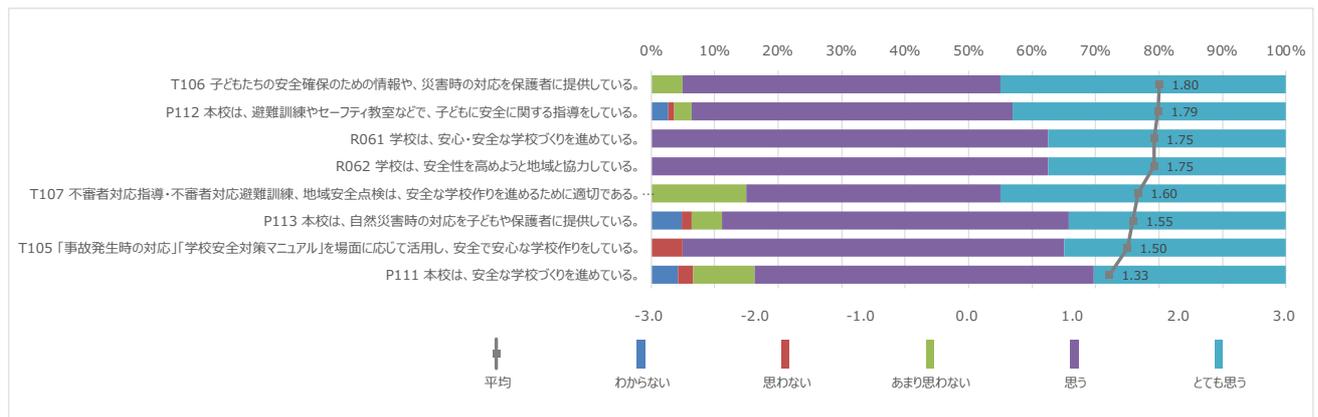
10 地域連携

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
R081 本校は、地域との連携に努め、地域を学ぶ機会を大切にしている。	0	0	0	2	6	2.50	+?
R051 地域の人や施設を教育活動に活かしている。	0	0	0	3	5	2.25	+?
R122 本校は、学び舎あいさつDAY等を通し、子どもたちの見守りや交通安全指導、地域の人との交流に努めている。	1	0	0	3	4	2.14	??
R091 本校の地域運営学校の活動について興味・関心がある。	0	0	1	3	4	1.75	?
R052 学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	1	0	2	1	4	1.57	??
P102 本校は、地域の活動などに協力的である。	47	0	19	170	94	1.53	??
P103 本校は、地域に情報を提供している。	59	3	18	159	91	1.49	??
P101 本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	46	2	22	166	94	1.48	??
R053 学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	0	0	2	3	3	1.25	-



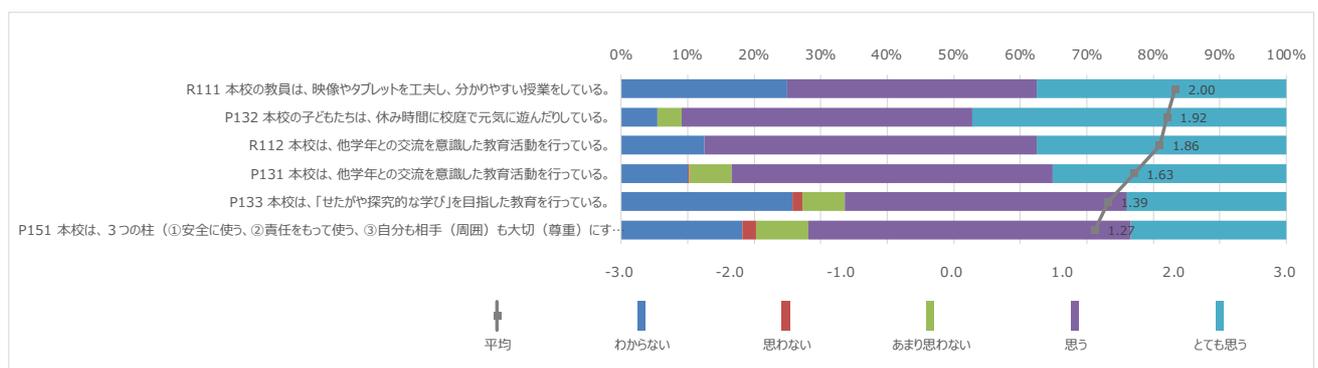
11 安全性

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
T106 子どもたちの安全確保のための情報や、災害時の対応を保護者に提供している。	0	0	1	10	9	1.80	
P112 本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	9	3	9	167	142	1.79	↗
R061 学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	0	0	0	5	3	1.75	↗
R062 学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	0	0	0	5	3	1.75	↗
T107 不審者対応指導・不審者対応避難訓練、地域安全点検は、安全な学校作りを進めるために適切である。(教育計画参照)	0	0	3	8	9	1.60	
P113 本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	16	5	16	180	113	1.55	↗
T105 「事故発生時の対応」[学校安全対策マニュアル]を場面に応じて活用し、安全で安心な学校作りをしている。	0	1	0	12	7	1.50	
P111 本校は、安全な学校づくりを進めている。	14	8	32	176	100	1.33	↗



13 特色ある教育

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
R111 本校の教員は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	2	0	0	3	3	2.00	? ↗
P132 本校の子どもたちは、休み時間に校庭で元気に遊んだりしている。	18	0	12	144	156	1.92	+ ↗
R112 本校は、他学年との交流を意識した教育活動を行っている。	1	0	0	4	3	1.86	? ↗
P131 本校は、他学年との交流を意識した教育活動を行っている。	33	1	21	159	116	1.63	↗
P133 本校は、「せたがや探究的な学び」を目指した教育を行っている。	85	5	21	140	79	1.39	? ↗
P151 本校は、3つの柱(①安全に使う、②責任をもって使う、③自分も相手(周囲)も大切に(尊重)にする)を意識させ、デジ...	60	7	26	160	77	1.27	? ↗



14 支援部

ID項目	わからない	思わない	あまり思わない	思う	とても思う	平均	記号
T128 地域の人材や地域の施設を教育活動に活かしている。	0	0	0	9	11	2.10	+
T127 教科や「さいばいDAY」などの時間を活用して、植物を育てるなど自然環境を愛する心情を育んでいる。	0	0	0	11	9	1.90	
R101 4支援部の活動に興味・関心がある。	1	0	1	2	4	1.86	? ↗
T131 家庭教育支援部の、給食に関してホームページでの発信、給食試食会の計画など、食を通じて家庭と学校、地域の連携が行	1	0	1	10	8	1.74	
T130 読書タイムなどを活用し、読書への意欲を高め、読書の習慣を身につけさせることができる。	0	0	1	11	8	1.70	
P143 読書活動支援部（図書室整備・おはなしたまご等）の活動は、児童の読書活動の向上が期待できる。	26	6	20	172	106	1.49	↗
P142 学力向上支援部（体験的な学習・授業補助等）の取り組みは、児童の学習意欲の向上が期待できる。	37	2	24	168	99	1.48	↗
P141 校内緑化支援部（常緑会等）の取り組みは、児童と共に活動し、校内の緑化や維持、児童の植物に対する関心の向上が	43	3	19	171	94	1.48	? ↗
P144 家庭教育支援部（給食試食会等）の活動は、家庭と地域、学校で共に教育について考える場として期待できる。	35	4	25	168	98	1.44	↗
T144 4支援部の名称・目的・各推進委員会の活動内容や担当人数は適切である。	0	0	2	11	6	1.42	-
T129 地域の活動や行事に参加したり、協力したり、広報したりしている。	0	1	2	11	6	1.20	-

